

Maki-dental news

2025年1月号 NO.259

歯科助手の向井です(^^)毎年感じていることですが本当に1年が早いです！

2024年は体調を崩しがちで健康のありがたみをひしひしと感じる1年でした🏠

みなさんは2025年の目標や抱負などもう決めましたか？

本年もスタッフ一同よろしくお願ひ致します🎵

今回は、まき歯科で取り入れ始めた グルコセンサー検査 についてご紹介します！！

グルコセンサー検査とは・・・

噛む力や咀嚼能力を測定するもので咀嚼運動でどのくらいの効率で噛めているかを数値化して判定できるようにした検査です。

咀嚼能力の測定方法

グミ(グルコース含有グミ)と測定器で咀嚼能力が測れます。

グルコセンサーGS-II

グミを20秒間咀嚼します

グミを10mlの水と一緒に吐き出します

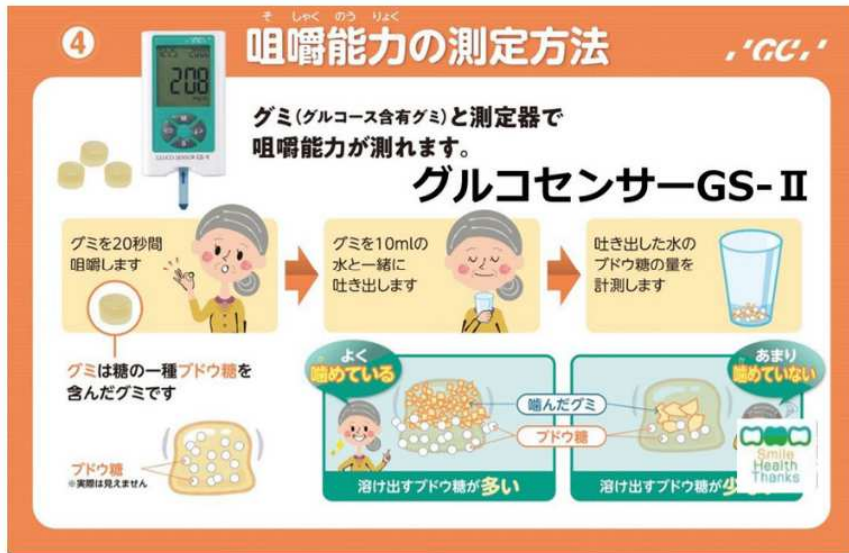
吐き出した水のブドウ糖の量を計測します

グミは糖の一種ブドウ糖を含んだグミです

ブドウ糖 ※実際は見えません

よく噛めている
噛んだグミ
ブドウ糖
溶け出すブドウ糖が多い

あまり噛めていない
溶けたグミ
ブドウ糖
溶け出すブドウ糖が少



グルコース(ブドウ糖)がどれだけ溶けているかを検出するもので、正常値が200～250くらいで、100を下回ると咀嚼機能低下の可能性がります。

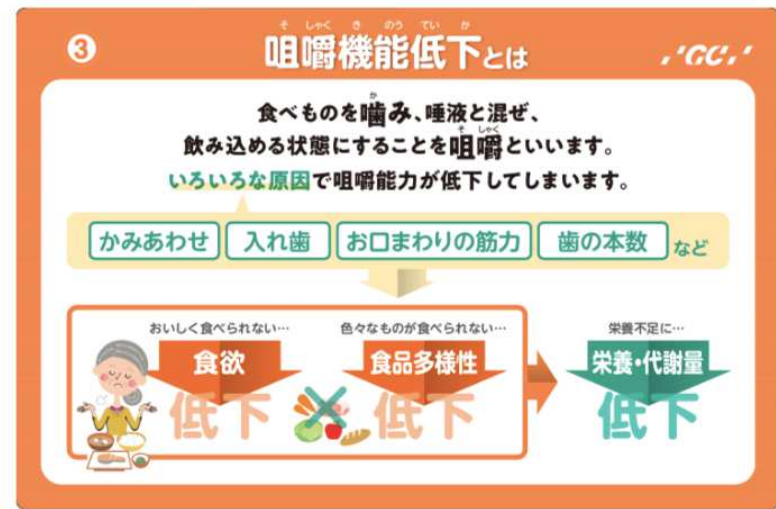
咀嚼機能低下とは

食べものを噛み、唾液と混ぜ、飲み込める状態にすることを咀嚼といいます。
いろいろな原因で咀嚼能力が低下してしまいます。

かみあわせ 入れ歯 お口まわりの筋力 歯の本数 など

おいしく食べられない... 色々なものが食べられない... 栄養不足に...

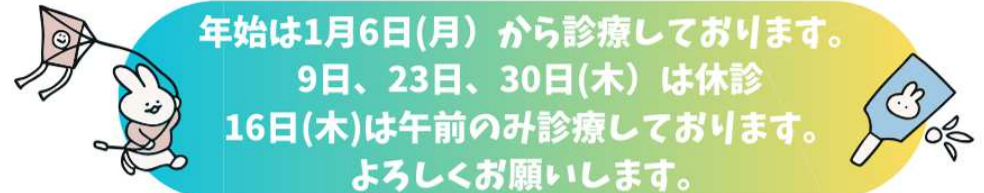
食欲低下 食品多様性低下 栄養・代謝量低下



特に高齢の方によくみられる咀嚼機能低下。歯の本数が減ったり、入れ歯があってなかったり、加齢に伴う体の変化によって噛む能力がどうしても衰えてしまいます。また若い方でも噛み合わせが悪かったり、虫歯や歯周病などで奥歯の噛む力が低下することもあります。

このように現状を知るための方法としてこの検査を行っています。必要であれば矯正、入れ歯、ブリッジ、インプラントなどの治療をすることで咀嚼機能が改善していくようになります。そして普段からお口周りの筋肉をトレーニングすることとても大切です。まき歯科では【あいうべ体操】や【ガムや舌をつかったトレーニング】などを紹介しておりますので、気になる方はスタッフまでお尋ねください🎵
よく噛むことは健康寿命が延びることにもつながりますので、この期に噛むことの大切さを意識していただけたら嬉しいです！！

年始は1月6日(月) から診療しております。
9日、23日、30日(木) は休診
16日(木)は午前のみ診療しております。
よろしくお願いいたします。



Instagram



医療法人 SHT
まき歯科・矯正歯科クリニック
Smile Health Thanks



〒700-0975 岡山市北区今3-1-15

Tel ; 086-243-1006 Fax ; 086-243-1106

Mail ; Makishika@do5.enjoy.ne.jp Blog ; http://blo9.live door.jp/Makishika/